

種まき 通信No.89

いつも市民派 ずっと無党派
小林じゅん子 議会だより
事務所 〒399-8301長野県安曇野市穂高有明9972-1
Tel. 0263-83-4387 (090-4546-3496) Fax. 0263-83-4938
<http://junko.voicejapan.net/> メールはjunko@childnet.ne.jp



発行日：2024年11月20日
発行者：小林純子

◆安曇野市議会9月定例会 小林じゅん子の一般質問◆ 新型コロナワクチンの定期接種化について

新型コロナワクチンが、65歳以上及び重症化リスクが高い60から64歳の方を対象とした定期接種となり、10月1日から始まっています。新たにmRNAワクチン「レプリコンワクチン」が導入されることについては、7月頃から話題となり、その危険性を強調した意見が、あちこちから寄せられました。「定期接種の補正予算が出てくる9月議会はどのように？」ということで、この問題について取り組んできました。

幸いにして、新しいタイプのレプリコンワクチンについては、信頼性の高い情報が多くあり、新型コロナ感染症の蔓延とワクチン接種の3年間の総括と考察も出てきています。新型コロナウイルス感染症は「5類」に移行したので、定期接種といっても個々への通知はせず、広報などで制度のお知らせをするということでもいいのですが、安曇野市は対象となる65歳以上の人等へ、一斉通知でお知らせと接種券を送るというのです。

個々に通知や接種券が来れば、「5類」になる前と同じに考えて「接種しなくてはいけない…」と思って、盲目的に接種してしまう人が出てくるんじゃないでしょうか。一斉通知はしないよう提案したのですが、ダメでした。

みなさん、接種するかしないか、しっかり情報収集して慎重に考えてください。
私はコロナワクチンは一度も接種していません。

特にレプリコンワクチンはおすすめできません。

【小林質問】 本市の新型コロナワクチン定期接種はどのように実施されるか。

【保健医療部長】 令和5年度まで全額公費負担の無料接種が行われたが、この秋からは季節性インフルエンザと同様に、接種費用の一部自己負担がある定期接種となる。

で見解を述べることは控える。

【小林質問】 新型コロナ感染症のために大急ぎで開発されたmRNAワクチンは、副反応や後遺症、死亡事例が極めて多い(厚労省発表)。本市でも健康被害の認定が7件、その内1人が死亡している。接種にあたり慎重な判断を促すた



対象者は65歳以上及び重症化リスクが高い60から64歳の人など。接種期間は10月1日から令和7年3月31日まで。接種場所は市内の医療機関。自己負担は1,800円。対象者へ予診票兼接種券発送する。

【小林質問】 新タイプのmRNAワクチン「レプリコンワクチン」の危険性が指摘されているが、本市の見解は。

【保健医療部長】 接種予定のワクチンに国は5つのワクチンを示しているが、その中にレプリコンワクチンが入っている。ワクチンの安全性や有効性については、国の判断、専門機関に委ねられている。レプリコンワクチンについて市とし

学校の「香害」は シックスクール対策で改善しよう オンライン署名はこちらから→



学校の空気環境が悪化し、シックスクール症候群を発症する子どもが増えています。シックスクールの危険性を知らせ、被害の拡大を防ぐ対策を教育委員会・教育長に求める署名運動にご協力ください。

この香害の問題には6年前から取り組んでいますが、当時の市内小中学校児童・生徒7,000人に聞き取り調査をした時には「柔軟剤・合成洗剤等の匂いで体調を崩す、気持ちが悪くなる」という子どもは5人でした。これが、昨年のオンライン・アンケート調査では43人に増加。

香害の健康被害を訴える児童生徒や関係者が出ている学校(明北小学校、穂高西中学校ほか数校)では、香害対策に取り組んでもらえるところまで来ました。しかし、これだけでは根本的な

解決になりません。香害により学校の空気環境が悪化し、シックスクール対策が必要な状況になっていることを認識し、被害の拡大を防ぐ対策を求める署名です。

《署名に関する問い合わせ先》
「きれいな空気、みんなで元気の会」
メール：kukigenkikai@gmail.ne.jp
情報発信：X(旧ツイッター)



署名で実現したい
きれいで健康的な空気環境の学校

なんでも相談 おしゃべり会

個人的なことは、
政治的なことなのだ!

身近な「お困りごと」や「安曇野市のことを何とかしたい」などなど、ちょっとおしゃべりしてみませんか。

12月14日(土)14時~16時
場所：穂高有明9972-1
新ストープの店地平線倶楽部2階
問合せ：090-4546-3496(小林)

め、対象者への接種券等の一斉通知は止めたらどうか。

【保健医療部長】 従来通りに一斉通知する。

【小林質問】 レプリコンワクチンの心配もあるので、より一層の情報提供に努めるべきでは。

【保健医療部長】 ワクチンの安全性や有効性は、厚労省や本市のホームページで、引き続き周知していく。

種まき通信No.89

「種まき通信」の郵送を希望される方は電話・メール等でお申し込み下さい。
◆「種まき通信」は年4回発行しています。そのうちの1回は新聞折込にてお届けしています。毎号の郵送をご希望の方はお申し出ください。

この数字は？

約18億円

富田橋架け替え総事業費・県費

◆富田橋は烏川に架かる全長123mのコンクリート橋。1964年の建設で老朽化しており、歩道も付いておらず通行が危険なので、架け替えは20年来の悲願でした。昨年11月に県の事業として工事がスタート。

◆既存橋の上流側に仮橋（およそ4,920万円）が出来上がり、既存橋の取り壊し・新橋の建設が始まっています。以下、市民タイムス記事2024/02/29からの引用です。

◇この仮橋は、各部材を現地で組み合わせて造る「プレガダー橋」と呼ばれる鋼橋の一種で、施工期間が短くてすむ上に、耐久性もあり、災害復旧の現場でも使われているという。役目を終えた後は他の現場で上部工が再利用される。

◇仮橋設置後に建設する新橋は橋長132m、全幅12.5m（車道6m）。両側に2.5mの歩道を設ける。架け替え関連の総事業費は約18億円。仮橋は、現在の富田橋を撤去して新しい橋を架け終わる令和9年度末まで4年間使われる。県安曇野建設事務所整備課は「仮橋で今までより歩行者の安全が確保できる状況になる。早く新しい橋ができるよう安全に工事を進めたい」としている。（引用ここまで）

◆これまでは烏川の堤防道路と県道が富田橋の東詰・西詰で交差する地点が、信号機もなく危険でしたが、今回の橋の架け替え工事により、堤防道路は富田橋の両端で県道と立体交差でアンダーパスになる設計で、安全性が向上します。完成は令和9年度末の予定。

▼アンダーパスの参考写真▼



決算審議は政策の事後評価 予算編成の基本

賛成15：反対4で決算は認定されました

令和5年度 安曇野市一般会計歳入歳出決算に小林じゅん子は反対

◆決算を認めないといったところで、執行されてしまった予算は変えることはできません。しかし、問題があれば、それを指摘して後年の予算執行に役立てる、そこに決算の意義があります。今回の決算審議では、地方自治体としての矜持に期待して、あえて反対の立場をとりました。以下は、わたしの反対討論です。

6月定例議会のさなかの6月19日、地方自治法の一部を改正する法律が可決・成立しました。感染症のまん延等の国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生したり、発生するおそれがある場合、個別法に規定がなくても、国が県や市町村に必要な指示ができるとする、いわゆる「指示権」が特例として盛り込まれました。

2000年に施行された地方分権一括法により、地方自治体との関係性等・協力とする原則の中で、国の関与は必要最小限にとどめられてきたことを思うと、これからの地方自治・住民自治はどうなるのか不安がよびます。

令和5年度の決算審議にあたっては、そんな地方自治体と国の関係性から決算を見てみたところ、マイナンバー制度や、新型コロナウイルス感染症への対応などに、多くの課題が残されたことがわかります。

マイナンバー制度について、現行の健康保険証の新規発行廃止まで70日を切った今日の時点で、どれほどの市民が不安を抱えていることか。カード普及に向けたマイナポイント付与などの政策が「アメ」だったとすれば、健康保険証の廃止は事実上のマイナンバーカード取得義務化による「ムチ」と言えるでしょう。こうした国のマイナンバーカード普及政策に対し国民・市民が不信感を持っていることは否定

できないと思います。

マイナンバーカード普及に、いやおうなしに協力を求められているのが地方自治体なのですが、こうした市民の不安や不信感を切実に感じ取っている市町村こそ、現行の保険証をなくしてまでマイナ保険証への一本化を急ぐ政府に対し、立ち止まって再検討するよう要望するなど、市民を守る動きをすべきではなかったでしょうか。

新型コロナウイルス感染症への対応やワクチン接種の実施においても、国の方針に基づいて行う。ワクチンの安全性や有効性については、国の判断、専門機関に委ねられているので、安曇野市としての見解を述べることはできない。といった消極的な姿勢であり、予防接種法により、自治体として予防接種を提供する責任を負っているにもかかわらず、国の判断に頼りきって進めている新型コロナウイルスワクチン接種には不安を感じざるをえません。

mRNAワクチンで死亡を含む健康被害が多数出ているなど厚労省が積極的に出さない情報や接種リスクこそ、市としてしっかり伝えた上で、接種の判断ができるようにすること、これができていなかったことは非常に残念でした。以上、市民を守る自治体としての責任をもっと自覚した安曇野市政を求めて、令和5年度の決算認定に反対しました。

マイナ保険証の利用登録解除できます ～トラブル続きのマイナ保険証は不安という方へ～

マイナ保険証は、いったん保険証と一体化させたあとは、それを解除できない仕組みになっていましたが「元に戻せるようにしてほしい」という声が寄せられたため、厚労省は10月28日から、希望すれば保険証としての利用登録を解除できるようにしました。マイナ保険証の利用登録をした方でも、申請により利用登録解除ができます。ご自身の加入している保険者に申請してください。国民健康保険に加入の方は、安曇野市役所・国保年金課へお問い合わせください。郵送での申請も可能ですので、先ずはお電話を～☎0263-71-2029

